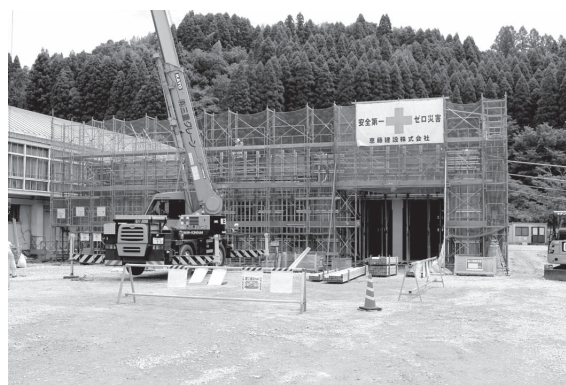


支所の建設状況は！

朝地支所



朝地支所

面積・構造	附属施設（駐輪場等）を含む延床面積…695.2㎡ 本体施設の延床面積…648.0㎡ 鉄筋コンクリート造平屋建て	
請負業者 及び契約額	建築主体	恵藤建設(株) 172,584,000 円
	電気設備	(株)山村電設工業 44,750,880 円
	機械設備	(株)菊地電気工事 38,206,080 円
進捗状況	外構	未発注
	工期は令和元年11月25日まで 現在コンクリート躯体が完成済み 今後間仕切壁・天井工事を行い内装工事を行っていく	

犬飼支所



犬飼支所

面積・構造	附属施設（駐輪場等）を含む延床面積…1,474.9㎡ 本体施設の延床面積…1,336.15㎡ 鉄筋コンクリート造3階建て	
請負業者 及び契約額	建築主体	恵藤建設(株) 312,660,000 円
	電気設備	(株)土谷電気 71,929,080 円
	機械設備	(株)九電工 64,800,000 円
進捗状況	外構	建築主体に含む
	工期は令和2年3月13日まで 現在コンクリート躯体が完成済み 今後間仕切壁・天井工事を行い内装工事を行っていく	

総務常任委員会

令和元年7月16日～18日
宮城県栗原市・岩手県遠野市

栗 原市では、東日本大震災における被害状況と自主防災組織の取り組みを視察。

合併後、平成20年岩手・宮城内陸地震、平成23年東日本大震災、平成27年関東・東北豪雨という3つの大きな自然災害を経験しました。平成20年の内陸地震をきっかけに、市民の防災意識が高まり平成21年度には全ての行政区に自主防災組織が設立されました。

「自分たちの地域は自分たちで守る。」という意識のもと、年1回は必ず自主防災組織が中心となって、避難訓練や炊き出し訓練、近所の安否確認などを行っています。市では、組織が自主的に活動できるように『防災マップ作成支援事業』などの支援体制の充実、強化を図っていました。



栗原市 防災学習センター



栗原市

遠 野市では、遠野ローカルベンチャー事業を視察。総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、地元の農家や醸造家、企業と連携しながら、遠野市内で起業する人材を育成する取り組みです。

ビジョンをしっかりと持っている若者を10数名採用し、3年後、地元のホップ農家や醸造家など企業を目指し、地元の指導者とともに日々励んでいるということでした。この事業の基盤を担うのが自治体ではなく、『ネクストコムズ』という企業でその取り組みは徐々に全国へと広がっているようです。

自治体と民間がうまく連携し、地域の資源を生かし地域に新しい事業が生まれ、地域活性化はもちろん定住につながる取り組みでした。



遠野市視察の様子



厚生文教常任委員会

令和元年7月22日～24日
千葉県鴨川市・茨城県守谷市

鴨 川市では、福祉相談窓口と民間委託の取り組みを視察。

鴨川市は、高齢化率37・8%、要介護認定率19・6%、病院数、病床数、医師数について人口10万人規模にすると千葉県37市中でも高い割合で介護事業所や介護の施設も多くある中、財団の助成事業や国のモデル事業などを活用しながら早くから福祉事業に取り組みできました。

まず、地域における住民主体の課題解決に取り組みましたが、地域の中で解決できない問題に対応するため相談事業にも取り組み、現在は、市直営の福祉総合センターと委託しているサブセンタ13つに専門職員も配置し、合併前の4つの生活圏ごとに、あら

ゆる福祉相談に24時間365日対応しながら解決を図っているとのことでした。



鴨川市視察の様子

